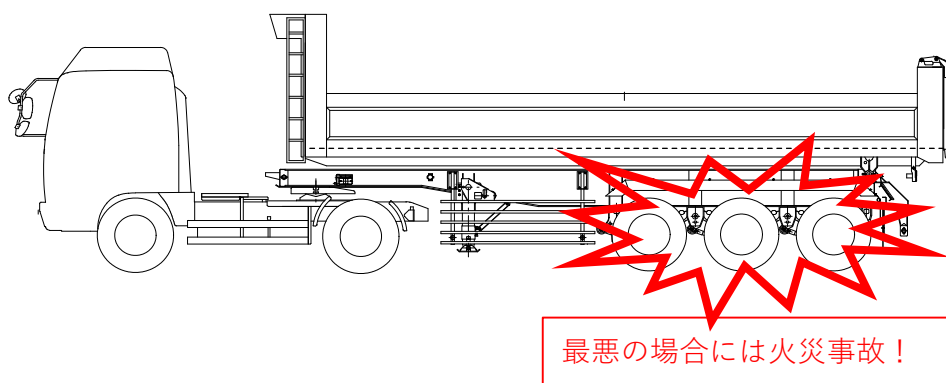


トレーラの冬季における取扱いについて

ブレーキ・エアに含まれる水分による ブレーキバルブ・ホース凍結の注意

温度の低下に伴い、ブレーキ用エアに水分が混入しますとその水分が凍結し、各ブレーキ機器の作動不良や、エア通路を塞いだり、破裂を起こす事があります。最悪の場合、火災事故となる可能性がありますので冬季は特にブレーキ機器の点検整備をして頂くと同時に、入念にエア・タンクの水抜きをお願い致します。



○ 日常点検でエア・タンク（トレーラ・トラクタ）の水抜きを実施して下さい。

車両の安全な状態を確保するためにエア・タンクのドレン・コックを開けて毎日水抜きを実施して下さい。

○ 日常点検でドレン・コックから多量に水が出る場合は、トラクタ側エア・ドライヤの点検整備を実施して下さい。

トラクタ側エア・ドライヤ点検整備のお願い

ブレーキ・エアに含まれる水分は、ブレーキ機器の潤滑油を洗い流して作動を妨げ、冬季においては凍結して作動不良になる危険性があります。

これらの問題を解決するためにトラクタにはエア・ドライヤが装着されていますが、性能を維持するためには定期的な点検整備が必要です。

※点検整備、交換部品、交換時期につきましては各トラクタメーカーの取扱説明書や販売店の指示に従ってください。